

やた はな組

2018/8/21 (火)、第18回「やた はな組」を開催しました。
その時の様子を簡単に報告させていただきます!!

矢田圏域勉強会「やた はな組」を矢田部交友会館第2会場で開催しました。

今回のテーマ「医療とつながろう!!」として、矢田圏域で働かれているケアマネのみなさんに参加いただきました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送るためには医療と介護の連携が不可欠です。が、ケアマネは医療とどのように連携したらいいのかわからないという思いをもっています。

医療と介護の「橋渡し」として、「東住吉区医師会」在宅医療・介護連携支援コーディネーター

大野さんと相談できる関係をつくるために。コーディネーターのことを知らないケアマネもいるので、仕事の紹介を大野さんよりしていただきました。



大野さんの紹介

ケアマネ、コーディネーター、包括・ランチで、“ホワイトボードミーティング”の手法で、「医療とつながろう」に基づいた話し合いをおこなった。

ケアマネは高齢者・家族と医療をつなぐ要ですが、医療の垣根は高く、気持ちがおれることもある。

ケアマネがコーディネーターの存在を知り、相談ができる関係になり、具体的に1歩を包括も一緒に考えられるようになりたいと思いました。



ホワイトボードミーティング



参加者の意見：

医師に相談したいことをうまくまとめられない。伝えられない。

医療知識に自信が無い。

医師は患者の普段の生活を知らない。

高齢者は自分で検査や治療の判断が出来ない等・・・



「やた はな組」では、できるだけ参加された方々に、自分の考えを自分の言葉で話していただき、他の人の意見も聞き、何らかの答えは参加者が自ら導き出してもらいたいと考えています。

地域における支援の担い手として、一人一人が力をつけていただいたなら、矢田の地域にとって、何より心強い存在になっていただけることと思います。

ご協力いただいた在宅医療・介護連携支援コーディネーター大野さん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございます。

次回「第19回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたくと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター
電話 06-6694-5552 E-mail houkatu@karan.or.jp